

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	イー・ステージ株式会社						
代表者名	氏名	鈴木 宏信	役職名	代表取締役			
主たる事務所の所在地	長野県小諸市大字平原309番地1						
主たる事業の分類	大分類	R サービス業（他に分類されないもの）					
	中分類	8816 ごみ処分量					
主たる事業の概要	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、中間処理及び最終処分						
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者					
原油換算エネルギー使用量	1722	k1	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	57 台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	管理部 事務所により営業時間内（8：30～16：00）閲覧可能 連絡先（0267）25-8886
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ISO14001の行動計画により環境目標(燃費 t/kℓ)を定め進捗管理を行う。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

ISO14001の組織と同じ組織で対応(別紙1参照)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,139	t-CO ₂	処理量	16	単位	千 t	
25年度	調整後排出量	3,564	t-CO ₂	基準原単位	261.96	t-CO ₂ /	千 t	
目標年度	目標排出量	4,015	t-CO ₂	目標原単位	254.00	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	2.99	%	目標削減率	3.03	%		
目標設定に関する説明	平成25年度の排出量を基準値に設定し、平成28年度に3%の削減を計る。少ない排出量で多くの処理を行う事(燃費の向上)を目標とする							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,258	t-CO ₂	処理量	16.06	単位	千 t	
	調整後排出量	4,243	t-CO ₂	原単位	265.18	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	(2.88)	%	削減率	(1.23)	%		
排出量等の増減理由	施設の老朽化及び処理量の増大により灯油使用量が増えたため。電力量については未使用電力の減設等を行い僅かではあるが削減できた。							
第二年度	排出量	4,631	t-CO ₂	処理量	14.91	単位	千 t	
	調整後排出量	4,620	t-CO ₂	原単位	310.60	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	(11.89)	%	削減率	(18.57)	%		
排出量等の増減理由	施設の老朽化及び処理困難物(水分を多く含む可燃ごみ)により灯油使用量が増えたため。電力量については未使用電力の減設等を行い僅かではあるが削減できた。							
第三年度	排出量	3,999	t-CO ₂	処理量	15.40	単位	千 t	
	調整後排出量	5,116	t-CO ₂	原単位	259.68	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	3.38	%	削減率	0.87	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	排出量は電力会社の変更や燃費向上により削減目標を達成できた。しかしながら、原単位については設備の老朽化により処理量が増えず未達となってしまった。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	1393	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1		特になし				
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
特になし						

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	575		15	11	-1117
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満			1	3,684	1	4,057		
1,500k1未満	2	4,139	1	574	1	574	2	3,999
合計	2	4,139	2	4,258	2	4,631	2	3,999

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
合計	0	0	0	0

1 3 次世代車使用台数及び導入計画

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	57	57	57	57
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	平成22年
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	デマンド管理システムを導入し最大契約電力の削減(-32kw)を行った。
第一年度実績	変圧器等の見直しを行い年間で2.2%の電力使用量を削減した。
第二年度実績	高圧モーター一台の更新を行い、電力量の削減を計った。
第三年度実績	前年度残っていた高圧モーター一台の更新を行い、電力量の削減を計った。

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	特になし	
その他	特になし	

温室効果ガス排出抑制組織

